



充実した環境で、あなたの挑戦を支える

RECRUITING GUIDE



社会福祉法人
東京老人ホーム

東京老人ホームの歴史

1923年 東京老人ホームのはじまり

東京老人ホームの事業は、関東大震災で被災した高齢者を日本福音ルーテル教会が救済したところから始まりました。当初は緊急的な高齢者救護としてスタートしましたが、入所者や東京都からの「家庭的な施設のため続けて欲しい」という声を受け、事業を継続することになりました。



1972年 全国初の配食サービス

地域の高齢者に栄養のあるお食事を届ける「配食サービス」を全国に先駆けて開始しました。このサービスは食事を届けるだけでなく、食事を配るボランティアと会話を交わすことで、一人暮らしの高齢者の孤独感を解消する役割も果たしています。



1980年 緊急通報システムの開発

武藏野市福祉公社と協働で、一人暮らしの高齢者向けの緊急通報システムを開発・実用化しました。首から下げるペンダント型発報機のボタンを押すと、東京老人ホームの緊急対策センターへ知らせが届きます。これは日本で初めて導入された緊急通報システムです。



1995年 全国初の全室個室の特別養護老人ホーム

当時は慢性的な施設不足により、国から特別養護老人ホームの個室は定員の10%までとされていました。しかし、東京老人ホームは「最期の時まで人間らしい生活が送れるようにプライバシー、プライド、自由が守られるべき」という強い信念のもと、全室個室の建設にこだわり続けました。1990年の建設当初は全室個室が実現しませんでしたが、交渉を重ねた結果、1995年1月に全国初の全室個室の特別養護老人ホームを誕生させました。



2016年 「おひさまカフェ」オープン

法人のプロジェクトチームで企画し、物忘れのある高齢者がカフェスタッフとして活躍する「おひさまカフェ」をスタートさせました。このカフェには、「認知症を有する高齢者が主体的に活動できる場を提供し、やりがいを感じながら住み慣れた地域の中で充実した生活を送っていただきたい」というプロジェクトメンバーの想いが込められています。



2021年 「片付け支援事業」スタート

2023年 「ひまわりの会」スタート

2023年12月13日 法人創立100周年



地域に向けた取り組み

●プロジェクトチームによる地域貢献活動

片付け支援事業

様々な理由から家族や地域との繋がりがなくなり、片付けができずにお困りの高齢者のご自宅を無償で片付ける支援を行っています。これは住環境の整備だけが目的ではなく、片付け支援実施後に地域のネットワークを構築し介護サービスに繋げることで、継続的に地域で安全な生活を送っていただくことを目指しています。



ひまわりの会

閉じこもりがちで物忘れなどが出てきた地域の高齢者が、自信を持って主体的に活動できる居場所づくりを目的としています。活動内容としては、東京老人ホームが参画している「花いっぱいプロジェクト」のメンバーの方が育てた花で作った押し花等の作品を近隣の学校の子どもたちにプレゼントしています。この交流を通して地域との繋がりを感じていただいている。



●子どもたちとの交流

東京老人ホームでは、未来を担う子どもたちに高齢福祉を学んでいただく機会を大切にしています。

周辺には多くの教育機関があり、学校へ出向いて車椅子操作や高齢者福祉の授業を行ったり、子どもたちが施設を訪れてご利用者と交流したりと、様々な取り組みを実施しています。



小学校への出張授業



近隣保育園との交流



小学生によるダンス披露

法人理念

「愛～人を大切に思う心～」

私たちは創立以来、一貫してこの理念を掲げ、時代のニーズを見つけ出し、新しい事業にチャレンジしてきました。時代の変化に柔軟に対応し、ご利用者や地域の方々が安心して暮らせる環境を実現するために、一緒に挑戦してくれる仲間を募集しています。

求める人物像

1. 責任感があり、前向きに取り組める人

困難な状況でも前向きに取り組み、自分の役割を理解して責任を持って行動できる

2. チームワークを大切にできる人

チームの目標に向かって、自分の意見をしっかりと伝え、他の人と意見を交わすことができる

3. ご利用者の想いを汲み取り、アイデアを実行できる人

ご利用者により良い生活を送っていただくためにアイデアや改善案を出し、それを実行できる

新入職員の成長を大切にする



東京老人ホームの研修制度は、一人ひとりのペースに合わせて丁寧に進めていくのが特徴です
1年目に介護技術の基礎をしっかりと身に着けることで、将来的なキャリアアップの可能性を広げます

■エルダー制度

入職から1年間、育成担当の「エルダー」が新入職員一人ひとりに付いて研修をサポートします。
新入職員とエルダーで定期的に振り返りを行い、
新入職員が抱える悩みや不安を確認し、克服できる
よう一緒に目標を立てていきます。



エルダー担当より



特別養護老人ホームめぐみ園
ケアワーカーNさん

介護未経験で入職した自身の経験をもとに、新入職員がどのような課題にぶつかるのかを思い出しながら研修を進めていきました。新入職員が気軽に相談できるよう、業務内外で積極的にコミュニケーションを取り、話しかけやすい雰囲気を意識しました。エルダーとして新入職員の育成を担当することで、自ら研修内容を考え、責任感を持って研修を進めるようになり、それが自分自身の成長にも繋がりました。

資格取得支援

資格取得時に5千円～10万円の手当を支給し、資格取得を支援しています。また、試験日の勤務調整にも柔軟に対応しています。残業が少ないため、働きながら資格を取得する職員も多いです！

シスター＆ブラザーハウス

新入職員と若手先輩職員が飲み会やBBQなどのイベントを通じて交流し、仕事以外のことでも相談できる場を提供しています。新入職員が安心して仕事に取り組めるようになれた制度です。

ケアプラン担当

生活相談員のキャリアラダーとして社会福祉士資格を持つ介護職員が担当として活躍。フリーの勤務日を活用し、ケアプランの作成補助などを実行ながら、生活相談員業務に対する理解を深めています。

若手職員が活躍できる職場環境



**わんわん村（ドッグセラピーイベント）担当
2021年入職 特別養護老人ホームめぐみ園ケアワーカー Yさん**

年に2回開催する「わんわん村」は、セラピー犬との触れ合いを通じてご利用者に癒しを提供するイベントです。係としては、計画書やポスターの作成、当日の写真撮影などを担当。セラピー犬との触れ合いを通じて、ご利用者の楽しまれている様子や、新たな一面を見つけることがやりがいへと繋がっています。ご家族が面会に来た際に、イベントで楽しまれていた様子を伝えるとともに喜んでくださるので、次の頑張りに繋がります。



**MEGU HOUSE（衣類訪問販売イベント）担当
2021年入職 特別養護老人ホームめぐみ園ケアワーカー Oさん**

MEGU HOUSEは直接手に取って買い物ができるので、外出の機会が少ないご利用者からとても好評です。担当は、ポスター作成や職員周知、お一人ごとの買い物の上限金額や実際の購入金額の確認を行い、各フロアの担当者と協力して準備を進めます。印象的だったのは、1時間近く悩まれていたご利用者が、買い物後に満面の笑みを見せてくれたことです。「楽しかった」「昔はよく服を見に行ってたのよ」と笑顔で楽しまれている姿を見ると達成感にも繋がります！



**SNSプロジェクト担当
2019年入職 特別養護老人ホームめぐみ園ケアワーカー Mさん**

法人の魅力を学生に伝えるためにインスタグラムを始めました。職員の様子や施設の行事を紹介し、リアルな東京老人ホームの姿を発信しています。担当として、自部署で投稿できる内容のピックアップや写真の選定、文章作成を行っています。プライベートでの発信とは異なり、学生の目に留まる投稿となると難しさを感じていますが、プロジェクトメンバーと相談しながらより魅力的な投稿を目指しています！

職員のアイデアを実現に向けて導いてくれる職場環境です！

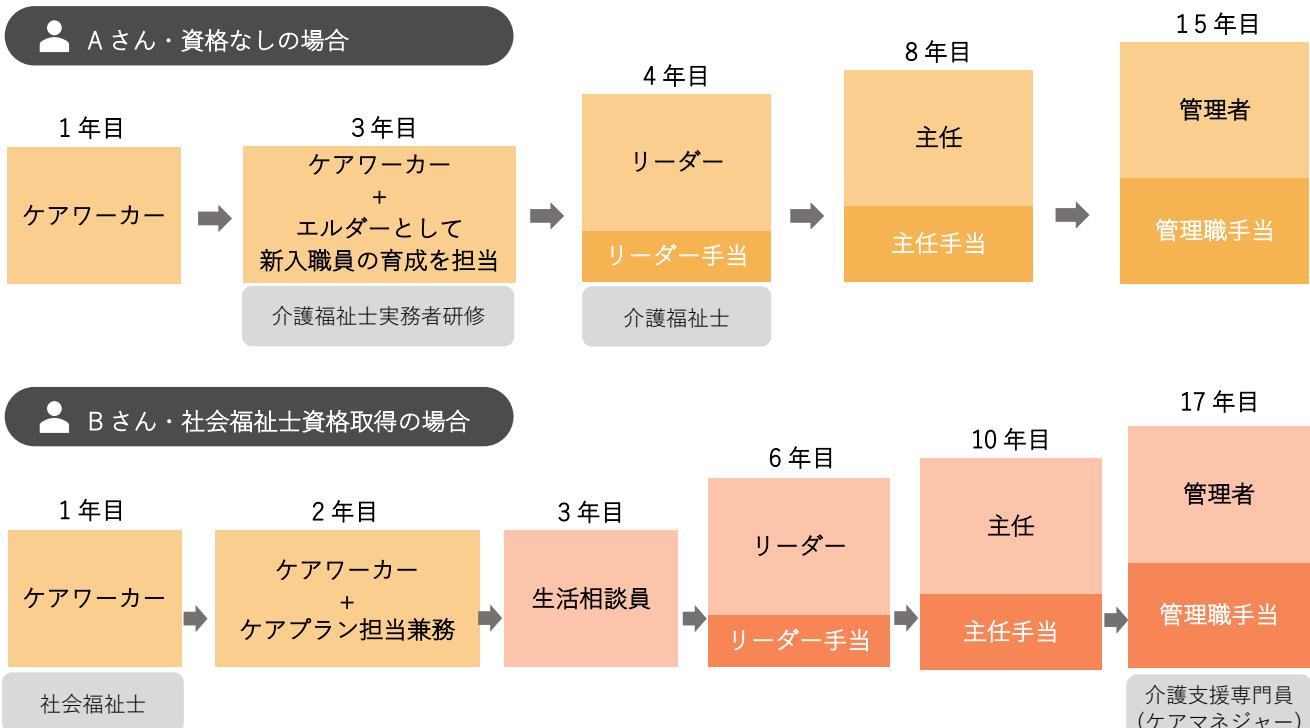


**特別養護老人ホームめぐみ園
主任 ケアワーカーIさん**

排泄ケアに課題を感じていた時に、上司が「何かやりたいことある？」と声をかけてくれたので、排泄ケアへの課題や目的、改善案を共有したところ、「一緒に改善していこう！」と後押ししてくれました。周りの職員にも目的を理解してもらい、オムツメーカーの方の協力も得ながらご利用者全員の尿量を測定。それを基に適切なオムツを検討してケアワーカー全員への情報共有と排泄ケアの研修も行い、技術面・知識面の両方をベースアップしてきました。その結果、ご利用者一人ひとりに合わせたオムツやパッド選びが可能となり、快適性の向上や皮膚トラブルの予防、そしてコスト削減にも繋がりました。上司は進捗に対しても積極的にアシストしてくれたので、当初考えていたよりも何倍も良い成果が得られ達成感も大きかったです。「話を聞いて終わり」ではなく一緒に進めてくれたこと、そして改善の成果を共に喜んでくれたことが私のモチベーションに繋がり、次のステップアップへと進む力になりました。

キャリアアップ

入職後のキャリアアップ例



東京老人ホームでキャリアの可能性を広げる

資格を取得することで、他施設・他事業所で異なる支援方法を学ぶことや、他職種としてキャリアの幅を広げることができます（事業所は全て西東京市そのため転勤なし）

介護福祉士	<ul style="list-style-type: none">訪問介護事業所（サービス提供責任者）特別養護老人ホーム/養護老人ホーム/軽費老人ホーム（ケアワーカー/支援員） <p>★資格必須ではありません</p>
社会福祉士	<ul style="list-style-type: none">特別養護老人ホーム/養護老人ホーム/軽費老人ホーム（生活相談員）地域包括支援センター
介護支援専門員 (ケアマネジャー)	<ul style="list-style-type: none">特別養護老人ホーム（施設ケアマネジャー）居宅介護支援事業所地域包括支援センター

立場や年齢に関わらず挑戦を応援する職場



特別養護老人ホームめぐみ園
介護支援室長 Sさん

より良い施設にするためには、上司の指示だけでなく、各自が主体的に考え行動することが重要です。やりたいイベントや業務改善の提案があれば、立場や年齢に関係なく意見を出してください。「やってみたい」と言われた提案には、ご利用者に不利益がなければ「やってみよう！」と答えます。上手くいかない場合は、ミーティングで見直せば良いと思っています。これから入職する皆さんにも、現状のケアに満足せず、新しいアイデアをどんどん出してもらいたいです！

働きやすい環境が質の良いサービスに繋がります

めぐみ園では、職員の体調に配慮したシフト作成を行っています。具体的には、遅番勤務の翌日に早番勤務を入れないことや連続勤務を避け、夜勤も月に4回程度に抑えています。このような職員の働きやすい環境が、ご利用者へのケアの質向上につながると考えています。

安心して長く働く職場環境

2023年度 特別養護老人ホームめぐみ園ケアワーカー（正職員）の実績

一生懸命仕事と向き合うには、ワークライフバランスが大切。

東京老人ホームでは、高い給与水準と無理なく働くことのできる勤務体制を整えており、職員の挑戦をサポートしています。

大卒1年目の月給例

30.6 万円

基本給 190,000円に住宅手当
処遇改善手当・居住支援特別手当
夜勤手当4回分含む

賞与

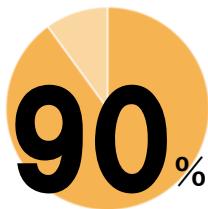
平均 **4.7** ヶ月

入職2年目の年収例

460 万円

夜勤月4回・住宅手当ありの場合
残業代は実績に応じて別途支給

一人暮らしの職員割合（20代・独身者）



一人暮らしのサポート

引越し手当（入職に伴う転居） **50,000円**
住宅手当 30歳まで **25,000円**
30歳以上 **20,000円**

男女比

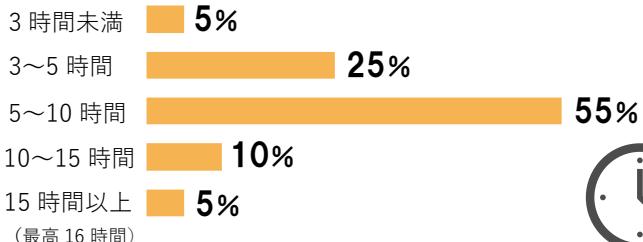
4:6



月の残業時間数

平均 **6.9** 時間

サービス残業はありません

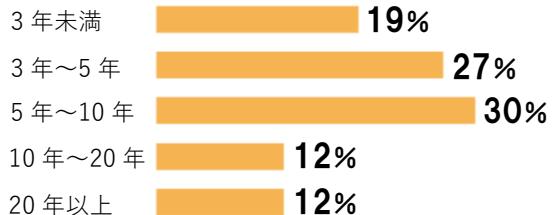


月の夜勤回数

平均 **4** 回

夜勤明けの翌日は原則公休

勤続年数



リフレッシュ休暇

5年毎 **5** 連休

休暇取得時に
リフレッシュ手当（1万円）支給

有給取得日数

平均 **7.6** 日

リフレッシュ休暇と
特休（4日）は含まず

離職率

4%

産業平均 12.1%（医療・福祉 13.3%）
厚生労働省「令和5年雇用動向調査結果」



法人名 社会福祉法人東京老人ホーム

所在地 〒202-0022 東京都西東京市柳沢 4-1-3
TEL : 042-461-2230 FAX:042-461-2280

創立 1923 年

職員数 138 名 (2025 年 1 月時点)

【施設事業】

特別養護老人ホームめぐみ園
養護老人ホーム東京老人ホーム
軽費老人ホーム東京老人ホーム泉寮

事業内容 【在宅事業】

めぐみ園ホームヘルプサービス
めぐみ園指定居宅介護支援事業所

【受託事業】

富士町地域包括支援センター
西東京市高齢者見守り配食サービス

採用に関するお問い合わせ

社会福祉法人東京老人ホーム
〒202-0022 東京都西東京市柳沢 4-1-3
TEL : 042-461-2230
e-mail : saiyou@tokyo-rojin-home.or.jp
担当：事務室総務 新卒採用担当



Instagram



東京老人ホーム HP